SECRET SECRET
FREE! KISUMI×RIN FANBOOK R-18

鴫野貴澄、という男

ピンクでふわふわの髪が印象的な俺の小学時代の同級生

小さい時から顔立ちが整っていたらしい彼は

もちろん小学生の時もいわゆる美少年というやつでやたら女子に人気だったのを覚えている

宗介を含めた3人でつるんでるのが殆どで

当時は揃ってバカなことばかりしていた

渡豪から帰って会った貴澄は

腹立つことに俺よりもでかく成長していて

昔から好きなバスケは続けてるんだとか、オーストラリアはどうだったのだとか

聞いてもいないのにペラペラとしゃべる

——そんなあいつも

弟が水泳を始めた、と話し始めると

昔よりも優しい目をするようになっていて

当たり前だけど
あいつも成長
したんだな、とか

えーーっと…

こっちに帰ってきて
より一層
時間の流れを感じる

「それは、
来週で頼む」…
っと

コツ
コツ…

カチ
カチ

あれっ？
凛？

ピク

——きっと

わおっ！

この日
こいつと会ったのも
偶然じゃない

すっごい
偶然〜！

——そっかそっか〜
ならよかった！
でも宗介ほんと意地っ張りだからな〜
端かにな

部活はもう終わったんでしょ？
ちゃんと勉強してる〜？

ってそーいえば凛結局彼女作ってないよね
イケメンなのにもったいない
うっせぇ今ソレ関係ねーだろ

あっははは！ごめんって〜
仕方ないよそんな暇なかったんだし
おこらないおこらない〜！
怒ってねェよ
うそー！

んむ…そーだ
大学の方はどう？
こないだ話した時は色々悩んでたみたいだけど
決まりそ？
ん？
ああ…

あれからまたスカウトの話も大分聞いてきたけどな

やっぱりオーストラリアに行く

今もうその準備もしてんだ

ワリ…

次会ったら言おうと思ってて…

……

……そっかぁ

遠いねェ

オーストラリア

えっ…!? オーストラリア！ ほんとに!?

すごーい！

ほーっ

おうっ！

つかその前に岩鳶小って…お前本気かよ

別に止めねぇけどさぁ

しょーがだろ！今しかなんだって

あっちに行ってもがんばれよな…！

……

き

もーっほんとずるいなー凛は！

のべー

…は？

だって

折角戻ってきたのにまた行っちゃうなんて

余計寂しくなっちゃうじゃん

人ぐるま？

ッ……

悪かったな…！

いーってことよ～！

ドロ甘い…

うぇ

アハハハ♡

貴澄と
約束をした

……

ねぇ、凛

一週間後もさ、
また会えない？

忙しかったら
いーんだけど

へへっ
あのねぇ

凛にどーしても
お願いしたい事
があって

……

宗介には秘密

ね

……

オイ、凛もう寝んだろ
電気消すぞ
おお…
パチッ
ぽすっ
……
すっ
……あいつ
何であんなことしたんだ…？
意味分かンねぇ…
秘密ってなんだよ…

一週間後

約束通り会った貴澄は特に変わりもなく普段通りで

それこそ俺もいつも通り

ファミレスに2人で入ってたわいない話を延々とした

それから毎週会いたい、と言う

少し様子がおかしいと思ったが

断る理由は特になかった

嶋野貴澄はよく笑う

多少派手な見た目よりも柔らかい声をしていて、その声音は俺の耳にもすんなりとよく入る

こんなこと本人には絶対に言えないが、つまり心地よいのだ

俺が話をする時はちゃんとペースを合わせて聞いてくれる

たまに口をはさんだりもするがおどけていても真剣に聞いてくれているのがよく分かる

俺にとってこいつは何だろう

友達

いや、親友？

「親友」だ、なんて言ったらこいつはどんな顔するんだろうか

はい

あーーん♡

あーー

って何考えてんだ
俺…
もじもじ
……
もじ…
お前…前に俺にお願いしたい事あるっってたよな…!?
あれまだ聞いてねーんじゃねーのか
おっ前…!!!
わっ!?
何いきなり
そう
……
あ～～～
それは…
それは自分が思っていた以上に居心地がよくて
あ
うん…
今、目逸らした
凛、ここ出よ
外で話すよ
だから
今更気付いたのだ

こいつのペースに合わせられていたのか

俺に合わせたせいでこいつが話せなくなっていたのか

どちらにしろ

あれからもう二か月近く経っていたというのに

……

……って

雨降ってんじゃねーかよ

あれっ？気付いてなかった？

まぁ奥の方座ってたしね

ってお前気付いてたんなら…

えっ

おっ…

おい…！

貴澄

おいっバカ
濡れんだろっ！
ばシャ
ばシャ
っとに…！
ぐい
こんな時期に風邪引いたらどーすんだっ
ばさっ
体調管理は一番大事…
だ

……

お前…

何のつもりだよ

くやしい

……ふふっ

なーいしょ♥

凛も濡れちゃったね〜

またそれか…

お前のせいだろ

えーでもワザとじゃないよ

どーだか

ねぇ凛

僕…

ん？

気が付いたら

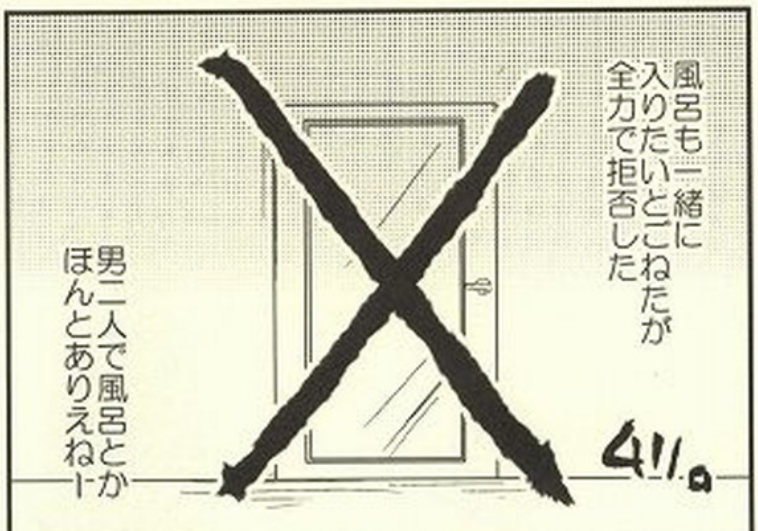
二度目も簡単にこいつに奪われてた

あったかーいお風呂に入りたいな♥

!?

ぷろ…。

雨に降られたまま
手を引かれて
無理矢理貴澄に
連れて行かれたのは、
いわゆる
ラブホ♡♡



そして風呂から上がった俺を見てこう言う

こうしてると昔と全然変わんないね

ちゅ

可愛い

なんだよ、それ

…可愛いってお前な

はーい

何人の女に言ってきたんだか

えーっ

そんなんじゃないよ？

それに

顔ならお前の方が可愛いんじゃねぇの

…え～ほんと？

なら…

凛

僕の事抱いてみてよ

は!!?

?

何言っ
実はね
お願いってこの事なんだ
えっ
凛が望むなら僕はどっちでもいいんだけど
どうしても凛としたくて
ね
僕のお願い
聞いてくれる…？
……
なぁ…お前さ
わざわざこんなとこ連れ込んでこんなお願いすんのって
何か……理由、あんだろ
言えって
お願い
聞いてくれたらね
……
……ズッリ

……正直
押しに弱い自覚はあったけど
んっ
ここまでとは…
ん
な
ッぅ
んっ
……りん
きもひ…？
ん…
まぁ
聞くな…
そりゃ…
よかった♥
ん
なんか
絵面がやばいっつーかい
んっ
貴澄(ダチ)相手なのに
変に興奮する……

ずるっ♡
ッあ
やば…
で
るッ
ぐッ
ぱゅるるっ♡
っう…ッ…！
でッ
ッ
あ
んっ
んぅ
ンっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
りん、いっぱい出たねぇ
…うるせぇ
溜まってた？
知らねーよ
……
お前は…いいのか？
え？僕？

ああ

凛が口でしてくれるの？

いいね、それも魅力的だなぁ

でか…

けど

早く

むにっ

凛のここに挿れたいし

はッ!?

ちょっ…待てケツの穴にいれんのか!!?

えっ!?

そーだよ？分かってなかったの？

知るかよ!!!

つか入ンねーだろ!!?

そりゃ最初からは無理だけど

指で解してけば大丈夫なハズ…だよ

う…指…

つか…汚ねーだろフツーに

そんなことないよ❤凛のだし❤

ンだそれ…

ずいっ

ん～いいね❤
全部丸見え❤
わっ
あっ
ちょ…
み、見ンなッ！
やらしー眺め❤

指
くちゅ
挿れてくね
痛かったら言って？
んっ
ッ
うわ…
すっげ…変な感じする…
くっ
つか…頭がぼーっと…
あっ
ッ
して
き

みっけ…♥

ここ、前立腺だよ

きもちーでしょ

なんだ

これ

熱ッ

……わぉ

すっごいね、凛

初めてなのに後ろでイけちゃった？

素質あるかもね

ね、次は
僕ので
感じて…？

ッ…

うわ…

挿れるね

んっ

ずぷぷ

うあ

ッ…ぅ

んっ

イッ…

あ…ッ

だ、め…
りんっ

締めすぎっ

出ちゃいそ…
お…

んっぐ

ッぅ

だっ…て

苦しっ…

ゆっくり…
ゆっくり…

ぬるぬる

ずぷっ

ずぷっ

ぬちゅ

ずぷん

全部
挿入っ…た

……りん
大丈夫？

動くけど…
いい？

んっ…

熱い…
きもち…い…
だめだ…こんなの
また……
こいつに流されてしまう…
はーあ…

思ったより
うまくいかなかった
な〜

もっと凛を
メロメロにするはず
だったんだけど

こてんっ

でも…別に
悪くなかった
んじゃねーの

はーっ

俺は
それなりに…
よかった
っつーか

凛…

…あのな

ほんとに!?
嬉しいっ
もっかい
しちゃう?

バッカ!
調子のんなっ!

ケツ
いてーから
もー無理!

え〜〜〜
次はもっと
上手くするよ?

いいっっって
んだろ

それより前っ
理由話すって
約束だよな

あ〜…
そだね

言えっ

聞いても
つまんないと
思うよ?

……

いーから

うーん…

しいて言えば

覚えてて欲しかったから

かな

……えっ？

…凛はさ

小6の時突然岩鳶に転校してその後オーストラリアに行ったでしょ？

そこからしばらくは僕が岩鳶で宗介は佐野だったから、2人でたまに会えたんだけど…

高校の時

宗介も東京に行っちゃったからね

もちろんその後新しい友達もできたけどね

ハルも真琴もそう

——けど

なんでだろなぁ

あの頃(佐野小)の思い出が一番頭に残ってて

2人がいなくなった瞬間にポッカリ穴が空いたみたいになっちゃったんだ

——だからね

つまりは

ちょっとだけ

ちょっとだけ、ね

忘れられるのが怖かったんだよ

ただ

それだけ

でもね、二人とも夢を追ってここを出てったのは分かってるし

応援もしてあげたかったから

それでいいんだと思う

2人が僕の事忘れて

ぐっ

ぎゅっ

！

忘れるわけねーだろッ

バカ……

ッ……

……

だっ…て

何も連絡してくれなかったよ

戻ってきた時も何も言わなかった

ごめん

ごめん

……また、いなくなっちゃうんでしょ

…ごめ

……ふふっ

なんてね

冗談だよ

ふるふる

僕の方こそごめんね

凛にも事情は色々あったのに、我儘ばっかり

ッ……

ほんと気にしないで

……りん

なぁ、

泣いてるの…？

ッ…
泣いてねー

そっか

……

遠いねぇ

オーストラリア

がんばってね

おう

連絡するから、
返事ちょーだい？

おう

…絶対
会いに行くね

宗介と一緒に

おう…
待ってる

……それと

今日の事は

2人だけの
秘密

ね

FREE!
KISUMI×RIN FANBOOK
PRESENTED BY CAFFEINE